

2022年4月1日現在

東京大学経営協議会学外委員の選考理由

氏 名：石山 志保（いしやま しほ）

現 職：大野市長

略 歴：1997年3月 東京大学工学部 卒業
1997年4月 環境庁（当時） 入庁
2005年4月 大野市役所 入庁
2018年7月 第17代大野市長

経営協議会委員の在任年数：0年

本学との関係（総長、理事等、常勤教職員の経験）：該当なし

【選考理由】

石山 志保 氏は、環境省、大野市役所での勤務を経て、2018年7月より大野市長を務めている。本学の工学部時代の研究や人脈を生かして下水道事業に取り組んだほか、運動会応援部や赤門市長会の繋がりなどを大事にするなど、本学の卒業生として幅広いネットワークを有している。また、市が直面する人口減少問題へ対処するため、市民が住み続けることができるよう地域経済の活性化や健康のまちづくりに取り組むとともに、新しい市民を増やすため子育て支援にも力を入れてきた。さらに、今般の新型コロナウイルス感染症予防対策はもちろん、デジタル化・脱炭素化など様々な課題に対し、大学の教育・研究力の活用を視野に入れ、市民協働で取り組んでいる。

以上のように、その経歴から、同氏が大学法人の経営に広く社会の多様な意見を反映させられるよう意見を述べられること、本学の理念と目標を共有し、「世界の公共性に奉仕する大学」を目指し、その実現に貢献できること、及び本学と社会のステークホルダーの双方向的な連携を推進し、互いに共通する公共的な利益を追求できるよう尽力する意思を有することが認められる。すなわち、「東京大学経営協議会の学外委員の選考方針等について（令和3年3月18日 役員会決定）」に定める選考方針各号に掲げる事項を全て満たしていると判断できる。